

2017年8月11日（金）神戸大学附属中等教育学校

1. 震災・復興とリスクマネジメント（）
2. 国際都市神戸と世界の文化（）
3. 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ（）
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸（○）
5. その他（ ）

[概要]

山陰海岸ジオパーク高校生ジオパークキャンプに参加しました

1. テーマ

神戸大学附属中等教育学校 SGH「グローバルサイエンスと拠点都市神戸」
山陰海岸ジオパーク高校生ジオパークキャンプ

2. 目的

- ① 本校のこれまでの GEP におけるフィールドワーク活動やジオパークに係る研究を紹介するとともに、山陰海岸ジオパークの取り組み等を学ぶ
- ② 山陰海岸ジオパークのフィールドワークを通して、神戸と山陰海岸における気候・風土・歴史の違いを学ぶ。特に地形・地質学的視点を養う。
- ③ 山陰海岸ジオパークの貴重な様々な資源について学ぶことを通して、地元「神戸」に対する郷土愛や誇りを醸成する。

3. 行程

8月4日（1日目）

空の駅・道の駅あまるべ見学、周辺散策
山陰海岸ジオパーク館見学
山陰海岸ジオパーク館見学
海と大地の自然館見学
鳥取砂丘ナイトウォーク

8月5日（2日目）

鳥取砂丘除草ボランティア
砂の美術館
雨滝・殿ダム見学
鳥取環境大学 見学・ワークショップ

活動の様子



道の駅あまるべ



道の駅あまるべ



空の駅



山陰海岸ジオパーク館での開会式



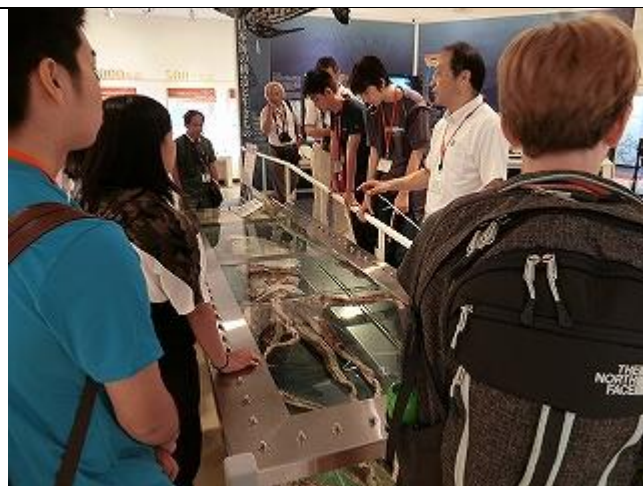
山陰海岸ジオパーク館



グループでのディスカッション



海と大地の自然館



海と大地の自然館



鳥取砂丘ナイトウォーク



鳥取砂丘ナイトウォーク



鳥取砂丘除草ボランティア



鳥取砂丘除草ボランティア



砂の美術館



砂の美術館



雨滝



殿ダム



殿ダム



鳥取環境大学



鳥取環境大学での発表



鳥取環境大学での発表



鳥取環境大学オープンキャンパス

参加生徒の所感

ジオパークキャンプでは、ジオパークに関する資料館を二つ訪れ、その中で専門の方に解説をして頂く事で、ジオパークとして重要となる岩石や地質など、ジオパークに関する知識を得ることができました。また、鳥取砂丘や雨滝など実際に自分の足で訪れることで空気感や地面の様子など、行かなければわからない知識を得たり、良い経験となりました。

自分の住む地域とは違う地域に暮らす高校生との交流でも学ぶことが多くありました。気候も違う中で、互いの生活の中で違う部分や、常識の違いなど初めて知ることも多くありました。

鳥取環境大学では、自分たちとは違う視点を持つ大学生と議論することで、自分の気づかなかった部分を指摘されたり、考えられなかった意見などをもらえたりして、テーマを考える中で大きく助けていただきました。

これらの知識や経験を活かして、これからのジオパークプログラムをより有意義に過ごせるよう、またこれからの世代にジオパークの魅力を伝えられたらと思います。